



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月27日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	30,090	3.7	2,371	7.0	2,413	5.3	1,761	18.7
28年12月期第2四半期	29,013	△1.4	2,217	△9.9	2,291	△9.9	1,483	△9.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年12月期第2四半期	円 銭 62 78	円 銭 —
28年12月期第2四半期	円 銭 52 43	円 銭 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年12月期第2四半期	百万円 98,785	百万円 84,692	% 85.7
28年12月期	百万円 98,525	百万円 83,556	% 84.8

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 84,685 百万円 28年12月期 83,551 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年12月期	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00
29年12月期	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00
29年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,100	4.8	5,300	38.8	5,400	35.0	3,900	37.3	139 04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2017年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期2Q	28,800,000株	28年12月期	28,800,000株
29年12月期2Q	751,288株	28年12月期	751,125株
29年12月期2Q	28,048,828株	28年12月期2Q	28,299,192株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成28年12月期 第2四半期累計期間	平成29年12月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	29,013	30,090	1,076	3.7%
営業利益(百万円)	2,217	2,371	154	7.0%
経常利益(百万円)	2,291	2,413	121	5.3%
四半期純利益(百万円)	1,483	1,761	277	18.7%

売上高は、平成28年4月に実施された薬価改定の影響が残るなか、新製品の早期市場浸透及び主力品の市場拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し30,090百万円と前年同期に比べ1,076百万円(3.7%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」及び「レミッチ(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」が市場拡大再算定の影響を受けたものの、「リオナ錠」は市場浸透・拡大に注力したことにより2,840百万円と前年同期に比べ204百万円(7.8%)増加し、「レミッチ」は販売数量の伸長により6,567百万円と前年同期に比べ129百万円(1.9%)の減少にとどまりました。なお、「レミッチ」につきましては、カプセル剤に加え、新たな剤形として口腔内崩壊錠の販売を平成29年6月に開始しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が3,104百万円と前年同期に比べ61百万円(1.9%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は554百万円と前年同期に比べ172百万円(45.0%)増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が2,796百万円と前年同期に比べ3,431百万円(55.1%)減少しましたが、平成29年1月から販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は3,522百万円となりました。また、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が89百万円と前年同期に比べ1,642百万円(94.8%)減少しましたが、平成28年7月から販売を開始した後継品の「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は2,794百万円となりました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したことや販売品目の構成が変化したこと等により14,773百万円と前年同期に比べ618百万円(4.4%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により12,944百万円と前年同期に比べ303百万円(2.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は2,371百万円と前年同期に比べ154百万円(7.0%)増加し、経常利益は2,413百万円と前年同期に比べ121百万円(5.3%)増加しました。四半期純利益につきましては、1,761百万円と前年同期に比べ277百万円(18.7%)増加しました。

## (2) 財政状態

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、98,785百万円と前事業年度末に比べ260百万円(0.3%)増加しました。これは、現金及び預金が4,796百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,770百万円減少しましたが、有価証券が8,109百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、14,092百万円と前事業年度末に比べ876百万円(5.9%)減少しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が595百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、84,692百万円と前事業年度末に比べ1,136百万円(1.4%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,087百万円増加したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、39,426百万円と前事業年度末に比べ741百万円(1.9%)増加しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が2,393百万円、減価償却費が593百万円、たな卸資産の減少額が347百万円となり、未払金の減少額が476百万円、法人税等の支払額が692百万円となったこと等により2,302百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は1,005百万円の収入)

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入が1,100百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が800百万円となりましたが、投資有価証券の取得による支出が1,817百万円、有価証券の取得による支出が403百万円、有形固定資産の取得による支出が312百万円となったこと等により768百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は260百万円の収入)

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が673百万円となったことにより792百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は876百万円の支出)

## (3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は2,222百万円となりました。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、次のとおりです。

- ・平成28年10月に日本たばこ産業株式会社と日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結したJAK阻害剤「JTE-052」の皮膚外用製剤につきまして、成人患者を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験及び小児患者を対象とした国内第Ⅱ相臨床試験を開始しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2017年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

## (4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成29年2月2日「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成29年12月期 前回予想	平成29年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	平成28年12月期 実績
売上高(百万円)	64,500	63,100	△1,400	△2.2%	60,206
営業利益(百万円)	5,300	5,300	—	—	3,819
経常利益(百万円)	5,400	5,400	—	—	3,999
当期純利益(百万円)	3,900	3,900	—	—	2,839

売上高につきましては、「リオナ錠」の販売状況が計画を下回って推移していること等により、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

一方、利益面につきましては、売上高は減少するものの、主に経費支出内容の見直しによる販売費及び一般管理費の減少により、前回発表予想を維持する見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回発表予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,393	17,596
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	7,091	4,321
受取手形及び売掛金	26,560	26,537
有価証券	11,102	19,212
商品及び製品	6,330	6,196
仕掛品	603	646
原材料及び貯蔵品	3,673	3,416
その他	2,368	2,501
流動資産合計	80,123	80,428
固定資産		
有形固定資産	5,752	5,515
無形固定資産	896	850
投資その他の資産	11,752	11,991
固定資産合計	18,401	18,357
資産合計	98,525	98,785
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,698	6,849
未払法人税等	767	758
賞与引当金	676	683
役員賞与引当金	47	27
返品調整引当金	2	5
その他	5,119	4,108
流動負債合計	13,310	12,433
固定負債		
退職給付引当金	637	739
その他	1,020	920
固定負債合計	1,658	1,659
負債合計	14,969	14,092
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	72,866	73,954
自己株式	△1,478	△1,479
株主資本合計	82,993	84,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	558	604
評価・換算差額等合計	558	604
新株予約権	4	7
純資産合計	83,556	84,692
負債純資産合計	98,525	98,785

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	29,013	30,090
売上原価	14,155	14,773
売上総利益	14,858	15,316
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,357	2,389
給料及び手当	3,115	3,112
賞与引当金繰入額	569	577
研究開発費	2,038	2,222
その他	4,559	4,642
販売費及び一般管理費合計	12,640	12,944
営業利益	2,217	2,371
営業外収益		
受取利息	27	15
受取配当金	12	11
為替差益	23	—
その他	11	21
営業外収益合計	74	48
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	4
その他	1	1
営業外費用合計	1	6
経常利益	2,291	2,413
特別損失		
固定資産除却損	15	19
特別損失合計	15	19
税引前四半期純利益	2,275	2,393
法人税等	792	632
四半期純利益	1,483	1,761



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,275	2,393
減価償却費	671	593
受取利息及び受取配当金	△40	△26
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	15	19
売上債権の増減額(△は増加)	2,845	23
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,926	347
仕入債務の増減額(△は減少)	△125	151
未払金の増減額(△は減少)	△467	△476
長期前払費用の増減額(△は増加)	△156	314
その他	△275	△375
小計	2,817	2,966
利息及び配当金の受取額	51	28
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,863	△692
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	2,302
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△403
有価証券の売却及び償還による収入	600	1,100
有形固定資産の取得による支出	△188	△312
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△151	△134
投資有価証券の取得による支出	—	△1,817
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	800
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	260	△768
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△679	△673
リース債務の返済による支出	△196	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	390	741
現金及び現金同等物の期首残高	36,210	38,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,600	39,426

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。